

## G I G Aスクール構想に基づく 1人1台端末の円滑な利活用に関する 調査協力者会議の設置について

令和 3 年 5 月 2 6 日  
初等中等教育局長決定  
令和 3 年 6 月 4 日一部改正

### 1. 趣旨

令和 2 年度末をもって、概ね、全国の小・中学校、特別支援学校において、児童生徒への 1 人 1 台端末の配備や高速大容量の校内通信ネットワークの整備に一定の目途が立ちつつある中、令和 3 年 4 月以降は「GIGA スクール元年」として、こうして整備された 1 人 1 台端末環境の下、学校内／外において I C T の本格的な利活用が開始されることとなった。

今後は、如何にして、学校 I C T 環境を日常的に安定した形で「管理運営」しつつ、I C T を効果的に用いた児童生徒の学びの充実に向けて「指導」を行うかが鍵になると考える。

このため、学校教育や I C T に知見を有する学識経験者等の協力を得ながら、利活用状況等調査や文献調査の実施・分析等を通じた専門的な検討を行い、その成果に基づき、文部科学省として、G I G A スクール構想によって整備された 1 人 1 台端末の円滑な利活用の更なる促進に向けて、「一定の考え方」や「参考情報」等を整理・提供することを目指すことを目的として、「G I G A スクール構想に基づく 1 人 1 台端末の円滑な利活用に関する調査協力者会議」（以下、「協力者会議」）を設置する。

### 2. 検討事項

- (1) 令和 3 年度における学校現場等の利活用状況等実態調査の設計
- (2) 教育における I C T 利活用を巡る民間等文献調査の収集・整理
- (3) 学校内／外における 1 人 1 台端末の利活用に関する「基本的な考え方」、「具体的な取組」、「留意事項」の整理・提示
- (4) その他

### 3. 実施方法

- (1) 別紙の者の協力を得て検討を行う。
- (2) 協力者会議に座長を置き、事務局が委嘱する。
- (3) 必要に応じ別紙以外の者にも協力を求めるほか、関係者の意見等を聴くことができるものとする。

### 4. 開催期間

令和 3 年 5 月 2 6 日 ～ 令和 4 年 3 月 3 1 日（予定）

5. 公開等の取扱い

協力者会議に係る資料及び議事録は、不開示情報を除き、会議終了後、速やかに文部科学省ホームページにて公表する。

6. 庶務

協力者会議に関する庶務は、関係局課の協力を得て、初等中等教育局情報教育・外国語教育課において処理する。

(別紙)

G I G Aスクール構想に基づく1人1台端末の円滑な利活用に関する  
調査協力者会議

|        |  |
|--------|--|
| 安藤 義仁  | 蓮田市立黒浜中学校校長                              |
| 國香 真紀子 | 富山市立芝園小学校校長                              |
| 佐藤 和紀  | 信州大学学術研究院教育学系助教                          |
| 佐和 伸明  | 柏市立手賀東小学校校長                              |
| 柴田 功   | 神奈川県立川崎北高等学校校長                           |
| 高橋 純   | 東京学芸大学教育学部准教授                            |
| 中川 一史  | 放送大学教授                                   |
| 中村 めぐみ | つくば市教育委員会指導主事                            |
| 東原 義訓  | 一般社団法人教育情報化推進機構理事長、<br>信州大学教育学部名誉教授・特任教授 |
| 堀田 龍也  | 東北大学大学院情報科学研究科教授、<br>東京学芸大学大学院教育学研究科教授   |
| 三井 一希  | 常葉大学教育学部専任講師                             |
| 渡邊 茂一  | 相模原市教育委員会教育センター指導主事                      |

(50音順、敬称略。令和3年5月時点)